

令和3年度 全国学力・学習状況調査【調査結果】 －蓮田市の結果の概要について－

蓮田市教育委員会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

1 実施状況

- (1) 実施期日 令和3年5月27日(木)
- (2) 対象学年 小学校第6学年 中学校第3学年
- (3) 調査内容
 - ア 教科に関する調査(国語、算数・数学)
 - イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 学力・学習状況調査結果

(1) 教科に関する調査

全体的傾向	小・中学校ともに、国語・算数・数学で、県・全国の平均正答率を上回る結果であった。 小学校は、国語では「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」について課題がある。中学校は、国語では「書くこと」について、数学では「数と式」「関数」について課題がある。また、無解答率は低く、児童・生徒は粘り強く取り組んでいる。
-------	--

【蓮田市と全国・埼玉県との比較の概要】

小学校第6学年 (平均正答率 単位%)

	国語	算数
蓮田市	65.0	72.0
埼玉県	65.0	69.0
全国	64.7	70.2

中学校第3学年 (平均正答率 単位%)

	国語	数学
蓮田市	65.0	58.0
埼玉県	65.0	57.0
全国	64.6	57.2

【国語】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
小学校第6学年 [問題数：14問] <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干上回っている。	<input type="checkbox"/> 自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える。 <input type="checkbox"/> 目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。	<input checked="" type="checkbox"/> 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
中学校第3学年 [問題数：14問] <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干上回っている。	<input type="checkbox"/> 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。 <input type="checkbox"/> 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く。 <input checked="" type="checkbox"/> 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。

【算数・数学】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
小学校第6学年 [問題数：16問] <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	<input type="checkbox"/> 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる。 <input type="checkbox"/> 三角形の面積の求め方について理解している。 <input type="checkbox"/> データを二次元の表に分類整理することができる。	<input checked="" type="checkbox"/> 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる。
中学校第3学年 [問題数：16問] <input type="checkbox"/> 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干上回っている。	<input type="checkbox"/> 平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることのできる理由を説明することができる。 <input type="checkbox"/> 錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している。	<input checked="" type="checkbox"/> 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。

(2) 児童・生徒質問紙調査 (全国平均と比較して ○良好 △課題)

<p>小学校第6学年</p> <p>全体的傾向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県や国の平均値とおおむね同様である。 ・ 基本的な生活習慣の定着ができています。 ・ 家庭での学習について、よい傾向にある。 ・ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることについて、よい傾向にある。 ・ 今までの授業について、アクティブ・ラーニングに関する項目がよい傾向にある。 ・ 学級活動、総合的な学習の時間の取組について、よい傾向にある。
<p>具体的傾向</p> <p>(質問紙の抜粋)</p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○良好</p> <p>△課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。 ○ 5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていた。 ○ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 ○ 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている。 ○ 5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた。 ○ 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。 ○ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり3時間以上勉強をしている。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) ○ 普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間未満、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしている。 △ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。 △ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。 △ 学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、週に1回以上使用している。 △ 国語の勉強は好きである。

<p>中学校 3 年生</p> <p>全体的傾向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校と同様に、県や国の平均値とおおむね同様である。 ・ 基本的な生活習慣の定着ができています。 ・ 読書に関してよい傾向にある。 ・ 学級活動、総合的な学習の時間の取り組みについて、よい傾向にある。 ・ 学級やグループで話し合う活動や自分の考えを深めたり広げたりする活動について、よい傾向にある。 ・ 自己肯定感や自己有用感に関する肯定的な回答の割合が低い傾向にある。
<p>具体的傾向</p> <p>(質問紙の抜粋)</p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○良好 △課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。 ○ 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていた。 ○ 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。 ○ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 ○ 学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。 ○ 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。 ○ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をしている。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） ○ 英語の勉強は好きである。 ○ 1、2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた。 ○ これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった。（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど） △ 自分には、よいところがあると思う。 △ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。 △ 今住んでいる地域の行事に参加している。 △ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。

	<p>△学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、週に1回以上使用している。</p> <p>△国語の勉強は好きである。</p> <p>△国語の勉強は大切だと思う。</p> <p>△国語の授業の内容はよく分かる。</p>
--	--

3 今後の予定

市教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○市全体の児童生徒の実態を国や県の実施した様々な調査のデータから分析し、種々の相関関係から導かれる教育の方向性を定める。 ○年次研修に加え、臨時的任用教員研修・授業研究会や、4年経験者を対象とした若手教員研修、また、職員育成講座を実施し、授業力の向上を図る。 ○特に課題の見られた点に対しては、指導主事の派遣を通して、重点的に授業改善の取組を支援していく。 ○国語の学力向上推進委員会の活動を推進し、課題の「言葉の特徴や使い方に関する事項」について取り組んでいく。 ○算数・数学学力向上推進委員会は、今後も継続して課題に的を絞り、学力向上について取り組んでいく。 ○コンピュータなどのICT機器について、意見交換や集約化、個別の学習支援等、学力向上に有効的な活用を研究していく。
各小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○校長のリーダーシップのもと、自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用していく。 ○授業中における学習規律を徹底するとともに、教科会や学年会を中心に学習指導法の工夫・改善を行い、児童・生徒に達成感を味わわせることができるような「ねらいがわかる授業」「共に考える場と、一人でじっくり考える場を保障した思考力を育成する授業」「一人一人の潜在的な力を最大限に引き出す授業」を展開し、授業が好きな児童・生徒を育成する。 ○学級指導や学級活動と連携させて、学力向上の推進を図る。 ○指導者を招いた授業研究会を積極的に行い、教師一人ひとりの指導技術の向上を図る。 ○個々の学力の伸びや、課題を重点的に分析し、個々に応じた学習指導の充実を図る。 ○授業におけるICT機器の有効な活用について研究をし、授業等での活用を進める。

家庭・地域社会

- 家庭での学習については、協力をいただきながら、軌道に乗りつつある。家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることを理解し、児童・生徒の生活習慣を改めて見直し、改善点があれば家庭で、じっくりと話し合うことの重要性を周知する。
- 携帯電話やスマートフォンの使い方、テレビやテレビゲームの時間等については、家庭のルールがある家庭も多い。引き続き、時間の上手な使い方や情報機器の使い方について学校で指導することはもちろん、家庭でもよく話し合う。
- 児童・生徒の学習面でのつまづきを把握するとともに、学校からのアドバイスをもとに、解決方法を家庭でよく話し合い、質・量共に充実した家庭学習に取り組んでいく。